

4. 校歌

ほがらかに $\text{♩} = 120$
mf

1. きんのひかりにあめなるや
 2. われらしんせいにはほんのこ

とよはたぐものかがよいて
 わかくさはゆるれいめいの

あおきやまなみはるかなるしきんの
 きぼうのひかみにあびしきんと

mp

おかのまなびやにすがしきあけの
 せいぎのふたすじをもろのかいなに

そらのごとこころきよらにてをとり
 かけつつへいわのくにのいしずえ

f

てちからをあわ—わ—せいそ—しまん
 とつよくあか—る—くいそ—しまん

校歌

石野 氏 栄 作詞
 信時 潔 作曲

一、金色の光に天なるや

豊旗雲の輝ひて

青き山なみ遙かなる

紫錦の丘の学舎に

すがしきあけの空のごと

心清らに手をとりにて

力をあわせいそしまむ

二、われら新生日本の子

若草映ゆる黎明の

希望の光身に浴びて

真理と正義の二すじを

もろの腕にかかげつつ

平和の国の礎と

強く明るくいそしまむ